

平成25年度

教科・科目名 科学年コース	普通科 3年理系	授業時間数/週	5時間
授業の目標	極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともにそれらを積極的に活用する態度を育てる。		
授業内容の方法	例題で解説をし、例題での解き方をまねて練習問題を解く。解説を聞き、間違った部分を分析する。		
評価方法について	試験80点 評点20点		
使用テキスト 教科書 副教材	知研出版 新数学Ⅲ 実教出版 アクセスノート数学Ⅲ		
年間授業計画	前期 4月・・・分数関数、無理関数、逆関数、 5月・・・数列の極限、極限の計算 無限等比級数、関数の極限、いろいろな関数の極限、三角関数と極限、関数の連続性、連続な関数の性質 6月・・・微分係数と導関数、導関数の公式、積の導関数、商の導関数、合成関数の導関数、三角関数の導関数、 7月・・・指数関数の導関数、対数関数の導関数、第n次関数の導関数 9月・・・接線の方程式、円、楕円と接線	後期 9月・・・関数の極大・極小 10月・・・関数の最大・最小、グラフの凹凸、直線上の点の運動 11月・・・不定積分、置換積分、部分積分、定積分とその性質、定積分の計算、偶関数奇関数の定積分、定積分の置換積分、定積分の部分積分、面積 12月・・・体積 1月・・・定積分の応用	

平成25年度

科 年 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
前期 4月 配当時間 12時間	分数関数 無理関数 逆関数	中学の復習の反比例の確認 分数関数のグラフにおける漸近線 の確認 逆関数の対称性	机間巡視し、生徒のフォロー 問題を黒板にて解く。解説をして理 解をさせる。 まとめの問題を解く 小テストの実施
5月 配当時間 20時間	数列の極限 関数の極限 関数の連続性	数列の基礎の確認 数列、関数収束と発散の区別	机間巡視し、生徒のフォロー 問題を黒板にて解く。解説をして理 解をさせる。 まとめの問題を解く 小テストの実施
6月 配当時間2 0時間	微分の定義 積の導関数 商の導関数 合成関数の導関数 三角関数の導関数	2年生における微分の復習 微分の定義の理解 いろいろな関数の微分のやり方の理 解	机間巡視し、生徒のフォロー 問題を黒板にて解く。解説をして理 解をさせる。 まとめの問題を解く 小テストの実施
7月 配当時間1 0時間	指数関数の導関数 対数関数の導関数 第n次関数の導関数	いろいろな関数の微分のやり方の理 解	机間巡視し、生徒のフォロー 問題を黒板にて解く。解説をして理 解をさせる。 まとめの問題を解く 小テストの実施
9月 配当時間1 5時間	接線の方程式 円、楕円の接線 関数の極大・極小	微分の確認 接線の傾きの求め方	机間巡視し、生徒のフォロー 問題を黒板にて解く。解説をして理 解をさせる。 まとめの問題を解く 小テストの実施
後期 10月 配当時間 時間	関数の最大・最小 グラフ 直線上の点	微分の確認 増減の確認 物理との関係性	机間巡視し、生徒のフォロー 問題を黒板にて解く。解説をして理 解をさせる。 まとめの問題を解く 小テストの実施

11月 配当時間 時間	不定積分 置換積分 部分積分 定積分 定積分の置換積分 定積分の部分積分 面積	各積分の計算方法の確認 積分の計算することで面積が求まること の確認	机間巡視し、生徒のフォロー 問題を黒板にて解く。解説をして理 解をさせる。 まとめの問題を解く 小テストの実施
12月 配当時間 時間	体積	面積を積分することで体積が求まるこ とを理解	机間巡視し、生徒のフォロー 問題を黒板にて解く。解説をして理 解をさせる。 まとめの問題を解く 小テストの実施
1月 配当時間 時間	定積分の応用	いろいろな関数の積分の理解	机間巡視し、生徒のフォロー 問題を黒板にて解く。解説をして理 解をさせる。 まとめの問題を解く 小テストの実施
2月 配当時間 時間			
3月 配当時間 時間			